

## 指導例：解決志向の考え方を取り入れた「いじめ防止プログラム」

大竹市立玖波小学校 教諭 久保 恵子

### 1 指導のねらい

互いのよさを認め合い、いじめにより心身の苦痛を感じている友だちに対して共感的な感情を高め、傍観者の行動の意味やいじめをなくしていくための行動について考え、実際に体験することを通して、いじめを許さない学級をつくるために自分ができることを進んで行う主体的態度を育てる。

### 2 指導と評価の計画（学級活動、朝の会・帰りの会）

教科等	活動の内容	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
帰りの会①	<b>事前アンケート</b> 「学級での生活ふりかえりアンケート」に回答する。	・「最高の学級」にするための第一歩として、今の自分の思いを真剣に振り返らせる。	学級での生活に関わる自分の思いや様子を真剣に振り返っている。 [事前アンケート]
帰りの会②	<b>自分たちの学級の振り返り</b> 学級の「よいところ」「直したいところ」について発表し、確認し合う。	・「よいところ」や「直したいところ」について、出された意見を「人の心に関すること」「ルールに関すること」「学習に関すること」等に分け、現状を確認しやすくする。	学級の様子を振り返り、自分の気づきやこれから取り組むことを考え、発表している。 [行動観察]
朝の会	<b>よいところ見付けの提案</b> ワークシートに、自分のよさを記入する。また、帰りの会までに、隣の席の友だちのよいところを見付け、書き込んでいく。	・たくさんのよいところを見付けることができるように、例（元気よくあいさつしていた、友だちを遊びに誘っていた等）を示す。 ・普段感じているよさも書いてよいこととする。	「自分のよさ」「友だちのよさ」を意欲的に見付けようとしている。 [行動観察]
帰りの会③	<b>よいところ見付けの交流</b> 席の隣同士で、お互いのよいところを伝え合い、全体で何人か発表する。	・ワークシートに新たに知った自分のよさを書き加えさせる。 ・リフレーミングについて知り、自分が短所だと思っていたところが、見方によっては、長所にもなることを知らせる。	「友だちのよさ」を一生懸命伝えようとしている。今まで気付かなかった「自分のよさ」に気付いている。 [ワークシート・行動観察]
帰りの会④	<b>「よいところ見付けクイズ」に向けての提案</b> 学級全員のよいところをワークシートに書く。	・全員の意見を集約し、クイズにすることを伝え、自分しか知らない友だちのよいところやエピソードを意欲的に書けるようにする。	友だちのよいところを見付けて、ワークシートに書いている。 [ワークシート・行動観察]
帰りの会⑤	<b>よいところ見付けクイズ</b> 「この人のよいところを、友だちは〇〇と言っています。この人は誰でしょう。」という出題から、友だちのよさを考え、答えさせる。（数回に分けて行う。）	・発表する時や答えを言う時、冷やかしの言葉等を言わないというルールを確認する。 ・最後の児童のクイズ終了後、それぞれのよいところを掲示する。	自分の知っている友だちのよさから、クイズに積極的に答えようとし、自分の知らなかった友だちのよさを認めようとしている。 [行動観察]

<p>学級活動 (第一次)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたいじめの場面から、自分がいじめられたとき、どんな気持ちになるかを考える。</li> <li>・いじめられた経験を書いた作文から、いじめられた人がどれほど傷付くかということに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態を考慮したいじめの場面を提示し「自分がされたとき」という設定で考えさせ、被害者に対する共感性を高めさせる。</li> <li>・「帰りの会②」の「直したいところ(人の心に関すること)」を振り返らせ、自分達の学級で辛い思いをしている人はいないか考えさせる。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめられた時の気持ちを自分のこととして真剣に考え、発表している。</li> <li>・いじめは絶対に許せないという気持ちをもっている。</li> </ul> <p>[ワークシート・行動観察]</p>
<p>学級活動 (第二次)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者の立場に立ち、観衆や傍観者の存在がいじめを拡大・継続させることを理解する。</li> <li>・教師や代表児童のロールプレイを見て、仲裁者が現れたときの被害者の気持ちやいじめの状況はどのように変化するか考え、いじめをなくすために大切な行動について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観衆や傍観者の存在によって、被害者は孤独感を感じ一層辛くなることに気付かせる。</li> <li>・観衆や傍観者もいじめの加害者であり、いじめは学級全体の問題であることに気付かせ、いじめを解決するためには、観衆や傍観者が仲裁者に変容することが大切であることに気付かせる。</li> </ul>	<p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観衆・傍観者がいじめを拡大・継続させることを理解している。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをなくしていくためには、観衆・傍観者が仲裁者に変容していかなければならないことに気付いている。</li> </ul> <p>[ワークシート・行動観察]</p>
<p>帰りの会⑥</p>	<p><b>目標設定</b></p> <p>解決志向の有効な質問「ミラクルクエスト」により、「最高の学級」のイメージを具体的に描き、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝、学校に来たら、『最高の学級』になっていた。どんなふうになっていたら『最高の学級』だと感じるか。」という質問から、「最高の学級」のイメージを発表させ、共有させる。</li> <li>・否定的な言葉は「〇〇してない代わりにどんなことが起きているか」と問い直し、肯定的な言葉で表すようにさせる。</li> </ul>	<p>いじめのない「最高の学級」についてイメージを膨らませながら、意見を出している。</p> <p>[行動観察]</p>
<p>帰りの会⑦</p>	<p><b>学級の現状の確認</b></p> <p>解決志向の有効な質問「スケーリングクエスト」により、現在の学級でできていることを確認し、具体的行動目標を決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『最高の学級』が山の頂上だとすると、今何合目まで登っているか。そこまで登ることが出来ているのは、何が出来ているからか。後一合登っていると何が出来るようになっていくか。」という質問から、学級ができていくこと、次にみんなで頑張ること(具体的行動目標)を共有させる。</li> </ul>	<p>現在の学級の様子を真剣に見つめ、更に良くするために、これからの行動目標を真剣に考えている。</p> <p>[ワークシート・行動観察]</p>
<p>帰りの会⑧ (学級活動第三次・第四次と同時進行)</p>	<p><b>友だちの頑張りに対する認め合い</b></p> <p>「最高の学級」に向けての具体的行動目標が達成できたかを確認し、達成するための友だちの頑張りをお互いに認め合い、次の具体的行動目標を決定する。頂上に達するまで続けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決志向の好ましいアプローチ「コンプリメント(賞賛)」(具体的行動目標を達成するために友だちが頑張っていたことをワークシートに書かせ、全体の場で発表させ、認め合いの場とする。)</li> <li>・目標のどこまで達成できているかを視覚的に表し、達成まで頑張ろうという意欲をもたせる。</li> </ul>	<p>互いに「友だちの頑張り」を評価している。</p> <p>[ワークシート・行動観察]</p>

<p>学級活動 (第三次)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちから人の悪口を聞かされる」と言う場面において、教師のロールプレイを見ながら、よりよい会話の仕方を考える。</li> <li>・四つのステップに沿って、ペアで練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめにならない会話の四つのステップ①問題を掴む(不満は何か) ②願いを掴む(どうなってほしいか) ③解決方法を考える(願いを叶えるためにどうするか) ④まとめる(相談したくなるような言葉で終わる)の流れを掴ませる。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の解決方法を考え、発表している。</li> <li>・いじめを解決するために、手順に沿ってロールプレイを行っている。</li> </ul> <p>[行動観察]</p>
<p>学級活動 (第四次)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観衆や傍観者にならないために、自分はどのように行動するかを、様々ないじめの場面から具体的に考え、これからの自分の行動を決意表明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場で「止める」という行為のみでなく、先生に相談する、問題を解決するような話をしていく(第三次)等も考えさせる。</li> <li>・決意表明により、学級内に「いじめを許さない」という雰囲気をつくり、お互いに支え合うことができるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習を活かし、観衆や傍観者にならないために、どのように行動したらよいか考え、発表している。</li> <li>・観衆や傍観者にならないために、どのように行動するかについて真剣に考え、今後の自分の行動を、具体的に決意している。</li> </ul> <p>[ワークシート・行動観察]</p>
<p>帰りの会⑨</p>	<p><b>学級活動(第四次)の振り返り</b> 学級活動(第四次)に決意したことについて、行動することができているかを定期的に振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの仲裁者としての行動について、「自分が頑張っていること」「友だちが頑張っていたこと」を発表させ、認め合いの場とする。</li> </ul>	<p>「自分が頑張っていること」「友だちが頑張っていること」を、書いたり、発表したりしている。</p> <p>[ワークシート・行動観察]</p>

3 ワークシート：よいところ見付け（朝の会・帰りの会）

じぶん  
自分のよいところみつけ

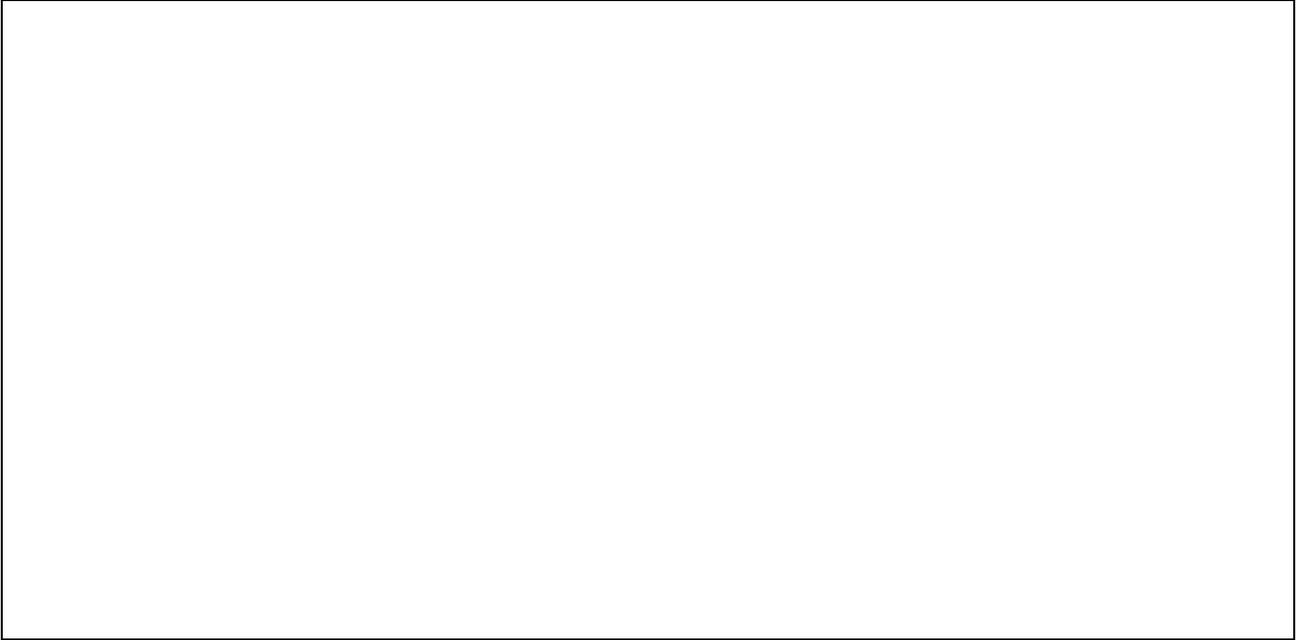
ねん くみ しめい  
年 組 氏名（ ）

1 じぶん  
自分のよいところを書こう。

2 ともだち  
友達がみつけてくれた、じぶん  
自分のよいところ（もらったプリントをはろう）

3 あたらしくきづいたじぶん  
自分のよさを書こう。

( ) さんの, こんなよいところをみつけたよ  
( ) より



( ) さんの, こんなよいところをみつけたよ  
( ) より



#### 4 学級活動（第一次）

(1) 本時の目標 いじめられた時の気持ちを考え、「いじめは許せない」という気持ちをもつことができる。

(2) 学習の展開

【事前の活動】○事前アンケートに回答し、学級での生活の中での自分自身の状況を振り返る。

○学級の「よいところ」「直したいところ」を振り返る。

学習活動	指導上の留意事項（◇）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 学級の現状を振り返り、本時の目標を確認する。	◇事前の活動を通して、学級に対する課題意識をもたせ、本時の目標を確認し、活動の見通しをもたせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【本時の目標】</b> いじめられた時の気持ちを考えよう         </div>		
2 いじめとはどういうものかを知る。	◇いじめの態様等を示しながら、いじめとはどういうものかについて理解させる。	
3 自分がいじめられた時の気持ちを考える。 ・個人でワークシートに書く。 ・全体で発表する。	◇いじめの場面を提示し、自分がいじめられた時を想定させ、その気持ちを考えさせる。 （自分のこととして捉えきれない児童には、場面を具体的に話し、その行為が何度も続いた時、どんな気持ちになるかを考えさせる。）	<p>・いじめられた時の気持ちを、自分のこととして、真剣に考え、発表している。</p> <p>〔関心・意欲・態度〕（行動観察・ワークシート）</p>
4 教師の話（資料）を聞き、いじめられた時の気持ちを考える。 ・個人で考える。 ・グループで話し合い、発表し合う。	◇いじめられた体験を通して、感じたことや考えさせられたことを書いた作文を読み、いじめられた人がどれほど傷つくかということに気付かせる。 ◇友だちが声をかけてくれたり、慰めてくれたりすることなどで支えられることに気付かせる。	
5 自分達の学級を振り返る。	◇事前活動で児童が挙げた「この学級のよいところ」から、「自分達の学級には友だちを支えようとしている人がいる」一方、「この学級の直したいところ」から、「人の心を傷つけることも起こっていて、つらい思いをしている人がいる」ことを振り返らせる。	
6 本時のまとめをする。	◇「いじめられた時、どのような気持ちになるか」を再度思い起こさせ、いじめについて思うことをワークシートに書かせ、発表させる。	<p>・いじめはぜったいに許せないという気持ちをもっている。</p> <p>〔関心・意欲・態度〕（ワークシート）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">           児童のまとめ予想            いじめは人に「死にたい」と思わせるくらいつらいことだ。いじめはぜったい許せない。            この学級から、いじめをなくしたい。         </div>		
7 本時を振り返り、次時へつなげる。	◇次時の学習内容を伝え、見通しをもたせる。	

第一次 いじめの場面 (2人の会話)

○子：ねえ、最近Aちゃんって調子にのってると思わない？

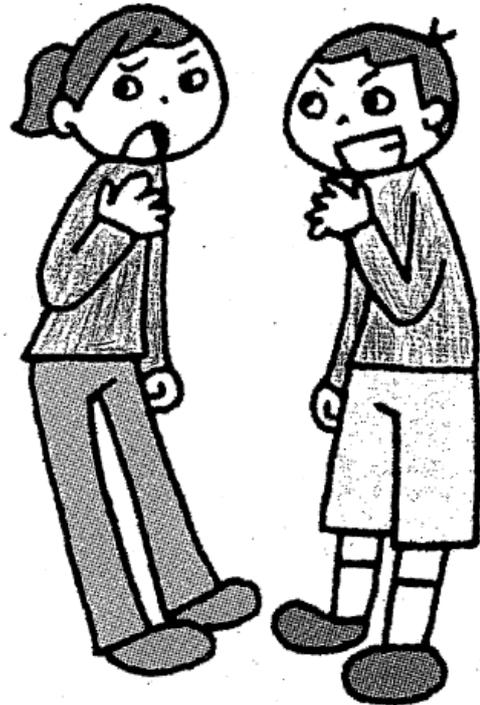
△美：思う、思う。目立ちすぎなんだよね。

○子：みんなも、Aちゃんのこと、いやだと言っててるよ。

△美：あ、シー。来たよ。

○子：いいじゃん、聞こえたって。どうせ、みんな、Aちゃんの嫌ってるんだし。

△美：そうじゃね。あははは・・・。



さいこう がっきゅう  
「最高の学級」をめざして

## ワークシート 1

ねん くみ しめい  
年 組 氏名 \_\_\_\_\_

いじめられた時の気持ちを考えよう

1 自分がいじめられていると想像してください。

どんな気持ちになりますか。

2 作文を書いた人は、いじめられたことで、どんな気持ちになりましたか。

3 今日、学習したことをふり返って、「いじめられた時、どんな気持ちになるか」

「いじめについて思うこと」を書きましょう。

## 5 学級活動（第二次）

- (1) 本時の目標 いじめられている時、観衆・傍観者がいたらどんな気持ちになるか考え、いじめをなくしていくには、どのように行動していくことが大切かを考えることができる。
- (2) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項（◇）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 本時の目標を確認する。	<p>【本時の目標】いじめられている時、はやしたてる人や、見て見ぬふりする人がいたら、どんな気持ちになるか考えよう</p>	
2 提示されたいじめの場面から、状況把握する。	◇いじめに関連した資料を提示する。 ◇提示された場面は、いじめか遊びかを考えさせ、されている人がいやな気持ちであれば、いじめであることを確認する。	
3 提示されたいじめの場面において、被害者の立場に立ち、その行動について考える。 ・個人で考える。 ・全体で発表する。	◇被害者が、「いやだ」と表現することがいじめをなくすために大切なことであるが、表現できない時もあることを知る。 ◇被害者が「いやだ」と表現できるのは、周りがどんな状況の時か考えさせる。	
4 いじめの4層構造を知り、観衆や傍観者のいじめへの影響を考える。 ・個人でワークシートに書く。 ・グループで話し合い、発表し合う。	◇観衆・傍観者の存在によって、いじめが拡大・継続し、被害者は孤独感を感じ、「いやだ」と表現できなくなり、さらにつらい思いをすることに気付かせる。 ◇観衆・傍観者が、いじめにどのような影響を与えるか考えさせ、観衆・傍観者も加害者であることに気付かせる。	・観衆・傍観者がいじめを拡大・継続させることを理解している。 [知識・理解]（ワークシート・行動観察）
5 観衆や傍観者にならないためにどうしたらよいか考える。 ・ペアトークする。 ・全体で発表する。	◇机間指導を行い、「実際に声に出して注意する」ということ以外にも、いじめを止められることはないか考えさせる。	
6 仲裁者が現れた時のいじめの場面のロールプレイから、感じたことを全体で発表する。	◇教師を交えたロールプレイの中で、仲裁者が増えることで、被害者の孤独感が解消され、「いやだ」と表現しやすくなり、加害者はいじめを継続しにくくなり、観衆・傍観者が仲裁者になりやすくなり、いじめをなくしていくことになると気付かせる。 （それぞれの立場に立ちにくい児童には、教師を交えたロールプレイに入らせ、実感させる。）	・いじめをなくしていくためには、観衆・傍観者が仲裁者に変容していかなければならないことに気が付いている。 [思考・判断・実践]（ワークシート・行動観察）
7 本時のまとめをする。		
<p>児童のまとめ予想 いじめを見ているだけで止めないのは、いじめているのと同じことだ。いじめられた時、だれも助けてくれなかったら、一人ぼっちな気持ちになって、すごくつらい。ぼくも、友だちにつらい思いをさせていたんだと気付いた。何か自分の出来る事をしていこうと思う。</p>		
8 本時を振り返り、次時へつなげる。	◇次時の学習内容を伝え、見通しをもたせる。	

## 第二次 「プロレスごっこ」の場面

### 1 はじめ

加害者：「おい、いつものプロレスごっこやろうやー。」

被害者：「え〜・・・。」

傍観者：「あ〜、またはじまったよ。」

### 2 観衆・傍観者の影響

観衆：「ほら、本気出せよ。弱いなあ。」

観衆：「ほらほら、反撃しろよ。やられっぱなしじゃ、つまらんじゃん。」

観衆：「あ〜、泣きそう。もっとやる気出せよ。」

傍観者：「あ〜あ、いつもこうだよ。私には、関係ないけど。」（心の声）

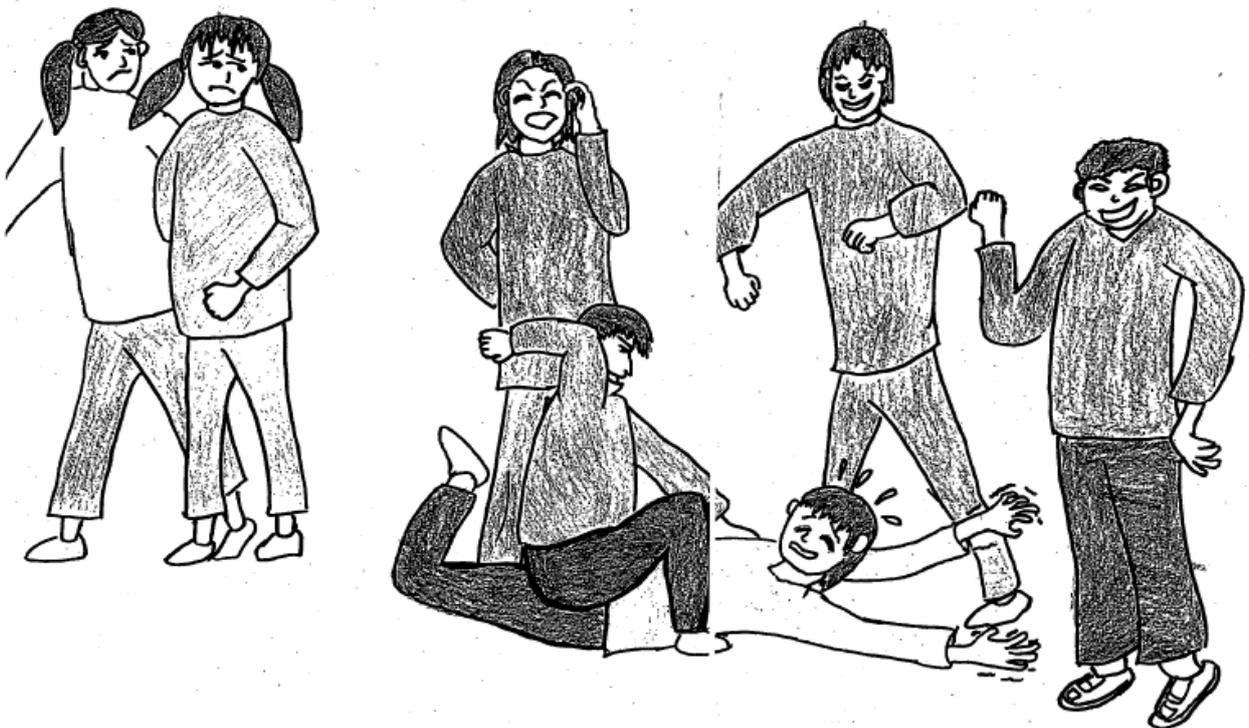
傍観者：「またやられてる。まあ、しょうがないよね。」（心の声）

### 3 仲裁者が現れる

仲裁者：「ねえ、いい加減にやめんさいよ。」

仲裁者：「私もそれはやりすぎだと思う。」

仲裁者：「いじめはよくないよ。」



# ワークシート 2

ねん くみ しめい  
年 組 氏名 \_\_\_\_\_

いじめられている時、はやしたてる人や、見て見ぬふりをする人がいたら、どんな気持ちになるか考えよう

- 1 自分が、いじめられている場面で、まわりの人が、はやしたてたり、見て見ぬふりをしていたら、どんな気持ちになりますか。

- 2 はやしたてたり、見て見ぬふりをしている人に対して、どう思いますか。

- 3 いじめをとめる人が出てきた時、どんな気持ちになりますか。

- 4 今日の学習から、感じたことや考えたことを書きましょう。

## 6 学級活動（第三次）

(1) 本時の目標 いじめが起きた時、観衆・傍観者にならないための解決方法を考える。

(2) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【本時の目標】</b> 問題が起こった時、どのように解決していったらよいかをみんなで考えよう         </div>		
2 自分の体験やその時の感情を思い出し発表する。 3 演習事例の三つの対応例から、教師のロールプレイを見て、どれが一番よい受け答えかを考える。 ・個人で考える。 ・全体で発表する。  4 問題の解決方法を考える。 ・個人で考える。 ・ペアトークする。 ・全体で発表し合う。  5 いじめの解決の手順を確認する。  6 ③のパターンを隣の人とロールプレイする。  7 いじめの解決方法のロールプレイを見る。  8 本時のまとめをする。	◇友だちに注意してうまくいかなかったり、友だちから人の悪口などを聞かされたりしたことを想起させる。 ◇演習事例の場面や悪口を言ってきた友だちの気持ちをつかませる。 (事例) 不満をもっている友だちが悪口を言ってきた場面において ①一緒に悪口を言う ②悪口を言った友だちを注意する。 ③一緒に解決方法を考える。 ◇①②のパターンでは、いじめは解決していかないことを確認する(②のパターンは、いじめにはなっていないが、いじめの解決にはならず、友だちの不満はなくならないことを考えさせる。) ◇不満の原因である問題の解決方法について、出された意見を板書し、後から選べるようにする。  ◇「(1) 問題をつかむ (2) 願いをつかむ (3) 解決方法を考える (4) まとめる」の四つのステップに沿って受け答えすると、いじめの解決に向かう会話になることを知る。 ◇それぞれのステップでの対応の言葉を児童からいくつか発表させ、ステップの流れをつかみやすくする。 ◇先に教師が見本を見せる。 ◇一番よいと思う解決法を選んだ後、ロールプレイに入らせる。 (ステップに合っていれば、普段使う言葉に置き換えて話してもよいことを伝える。) ◇教室の前方に1組出し、いじめの解決方法を最後までロールプレイさせる。 ◇悪口や注意だけで終わらず、解決に向けて友だちと一緒に考えていくことが、よりよい友だち関係をつくっていき、よりよい学級になることに気付かせる。	・問題の解決方法を考え、発表している。 [思考・判断・実践] (行動観察)  ・いじめを解決するために、手順に沿ってロールプレイしている。 [思考・判断・実践] (行動観察)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           児童のまとめ予想            (1) から (4) のステップを意識して友だちと会話したら、いじめも解決するし、友だちともよい関係になって、みんなが仲良くなれると思った。このやり方を普段から使っていくことができるようにしたい。         </div>		
9 本時を振り返り、次時へつなげる。	◇次時の学習内容を伝え、見通しをもたせる。	

## 第三次 場面

Aさんは、よく忘れ物をします。

そのたびに、隣の席のBさんに借りるのですが、Aさんは、借りたまま忘れてしまい、すぐ返しません。

何度かBさんは、「貸したものはすぐ返してね。」と注意するのですが、なかなか直りません。

Bさんは、だんだん腹が立ってきてAさんに対する態度がどんどん冷たくなっていきます。

ある日、Bさんが、あなた（C）に「Aさんってむかつくよね。」と言ってきました。

### 【問題解決の方法 3つのパターン】

- ①一緒になって悪口を言う。
- ②悪口を言ったBさんを注意する。
- ③Bさんの怒りがおさまるように、解決方法をいっしょに考える。

#### ①一緒になって悪口を言う。

B「Aさんってむかつくよね。」

C「何かあったの？」

B「いつも忘れ物ばかりして、何回言っても、貸したものをすぐ返してくれないんだよ。」

C「えー、ひどーい。それって迷惑だよ。ほんとむかつくね。もう、無視しちゃおうか。」

B「そうする。だってむかつくもん。」

#### ②悪口を言ったBさんを注意する。

B「Aさんってむかつくよね。」

C「何があったか知らないけど、それって悪口だよ。」

B「だって、何回言っても、貸したものをすぐ返してくれないんだよ。」

C「理由があっても、Bさんのいないところで悪口を言うのはよくないよ。」

B「じゃあ、どうすればいいのよ。」（怒りがおさまらない）

③Bさんの怒りがおさまるように、解決方法をいっしょに考える。

(ステップ1)

B「Aさんってむかつくよね。」

C「どうしてそう思うの？」

B「何回言っても、貸したものをすぐ返してくれないんだよ。」

C「そうか。何回言っても、Aさんが貸したものを返してくれないから怒っているんだね。」

B「うん。消しゴムとか鉛筆とか貸しても、こっちが言うまで返してくれないから迷惑してるんだー。」

(ステップ2)

C「じゃあ、Aさんがどうなったら、Bさんは気持ちがおさまるの？」

B「Aさんが、できるだけ忘れ物をしないで、もし忘れた時は、ちゃんと貸したものをすぐに返してくれたらいいんだけど。」

C「そうなんだ。Aさんが忘れ物をしないようにして、もし忘れても借りたものをちゃんと返すようになってくれたら、気持ちがおさまるんだよね。」

(ステップ3)

C「じゃあ、Aさんが忘れ物をしなくなったり、借りたものをちゃんと返せるようになってきたりするために、どうしたらいいと思う？」

B「えーっと。」

[みんなで、どうすれば、Aさんが忘れ物をしなくなったり、借りたものをちゃんと返せるようになってきたりするか、考えてみましょう。]

♡いじめにならない会話をしよう ( )

Aさんは、よく忘れ物をします。そのたびに、となりの席のBさんに借りるのですが、Aさんは、借りたまま忘れてしまい、すぐ返しません。



B

Aさんっておかつくんだよね

なんかい  
何回言ってもかしたものをすぐかえして  
くれないんだよ

Aさんがわすれものしないで、  
もしわすれても、かりたものを  
すぐ返してくれたらいいんだけど。



B

C



どうしてそう思うの？

じゃあ、Aさんがどうなったら、  
気持ちがおさまるの？

じゃあ、Aさんがわすれものしなくな  
ったり、かりたものをすぐ返せるよう  
になったりするために、どうしたら  
いかなあ。

じゃあ、Aさんに言いにくい。  
うまくいといいね。  
また、そうだんしてね。

さいこう がっきゅう  
「最高の学級」をめざして

## ワークシート3

ねん くみ しめい  
年 組 氏名

いじめをかい決する方法を考えよう

1 友だちが悪口を言ってきた時、どのように返事するのがよいと思いますか。

ばんごう  
番号に○をし、理由を書きましょう。

1	理由は、
2	
3	

2 当てはまるところに、○をつけましょう。

	そう 思う	少し そう 思う	あまり そう思 わない	そう 思わな い
①いじめをかい決する方法がわかった。				
②いじめをかい決する練習をした時、かい決方法をたくさん考えることができた。				
③友だちがおこったり、こまったりした時は、かい決方法をいっしょに考えたい。				

3 今日の学習を終えて、感じたことや気付いたことを書きましょう。

--

## 7 学級活動（第四次）

(1) 本時の目標 「いじめはしない」、「いじめの場面で、いじめを止めるために自分ができる行動をとる」と決意する。

### ② 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項（◇）	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時の目標】 いじめに対して自分はどのように行動するか、気持ちをはっきりと言葉に表そう</p> </div>		
<p>2 今まで学んできたことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・全体で発表する。</li> </ul> <p>3 提示されたいろいろないじめの場面から、自分はどうのように行動するか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でワークシートに書く。</li> <li>・グループで話し合い、全体で発表し合う。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でワークシートに書く。</li> <li>・全体で発表する。</li> </ul>	<p>◇いじめられた時のつらさや観衆・傍観者の行動、いじめを解決していく方法等、これまでの学習を思い出させる。</p> <p>（黒板にこれまでの学習の要点を掲示し、視覚的に振り返りができるようにする。）</p> <p>◇学習した後、普段自分が気を付けたり、実践したりしていることや友だちが実践していることを発表させ、本時の意欲につなげる。</p> <p>◇いじめの被害にあった時、いじめの場面を見た時、どのように行動するかを具体的に考えさせる。</p> <p>◇いじめを許さない立場に立っている意見は、全て肯定的に評価する。</p> <p>（すぐに思いつかない児童は、友だちの意見を聞いて、その中から自分にできそうな事を選ばせる。）</p> <p>◇3で考えた具体的な行動を振り返り、いじめに対するこれからの行動を決意させる。</p>	<p>・これまでの学習を生かし、観衆や傍観者にならないためにどのように行動していったらよいか考え、発表している。</p> <p>〔思考・判断・実践〕 (行動観察・ワークシート)</p> <p>・観衆や傍観者にならないためにどのように行動するかを真剣に考え、決意している。</p> <p>〔思考・判断・実践〕 (行動観察・ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>児童のまとめ予想</p> <p>・いじめのいろいろな場面で、いじめをなくすためにどんなふうに行動したらいいか<u>一生懸命</u>考えた。自分は、絶対にいじめはしない。いじめを見たら、<u>注意</u>したいし、一人で出来ない時は、友だちと一緒に注意したり、先生に相談したりしようと思う。5年1組を、<u>いじめを許さない学級</u>にしたい。</p> </div>		
5 単元全体を振り返る。	◇4時間の授業全体の様子や日々の様子について肯定的な評価を行い、授業で学んだことを、実際に行動に移していくことが大切であることを伝える。	

### 【事後の活動】

○帰りの会で、人を傷つけることを言ったり、したりしていないか、見て見ぬふりをしていないかについて、振り返りと評価を行う。

さいこう がっきゅう  
「最高の学級」をめざして

## ワークシート4

ねん くみ しめい  
年 組 氏名 \_\_\_\_\_

たい じぶん こうどう ことば あらわ  
いじめに対して、自分はどのように行動するか、言葉に表そう

1 こんな時、どうしますか。

<p>じゅぎょうちゅう がっきゅう とも わるくち 授業中、学級の友だちの悪口を か てがみ まわ 書いた手紙が回ってきました。 か なが よ エー 書いたのは、仲の良いAさん。 ニヤニヤしながら、つぎ ひと まわ 次の人に回 すように、あいず すように、合図しています。</p>	<p>じぶん 自分だったら、</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------

2 こんな時、どうしますか。

<p>え ぐ かたづ とき ふで あら 絵の具の片付けの時、筆を洗っ ていたBさん。あわてていてC くん ふく え ぐ 君の服に絵の具をつけてしまい ました。シーくん おこ ビー C君は怒ってBさんを せめています。まわりに ひと あつ まってきました。Bさんは、ど うしていいかわからず、こまっ ています。</p>	<p>じぶん ば 自分がその場にいたら、</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

☆ いじめに対して、これから自分はどのように行動していくか決意を書こう。

<p> </p>
----------